

てんだあ 第39号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2017年1月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



CONTENTS ~主な内容~

- 有償生活援助サービス…………… 2P・3P
- 敬老事業 …………… 4P
- 福祉ニュース …………… 5P
- ボランティアネット(和)ーク …………… 6P
- ワンポイント介護…………… 7P
- 善意の寄付、お知らせ…………… 8P

園児たちのかわいい姿に満面の笑み♪

老人クラブ連合会三芳支部会員とのふれあい交流会で、三芳こども園園児が歌やダンスを披露し、一緒になって手遊びも楽しみました。

園児から元気ももらい、会場は大きな笑い声と笑顔いっぱいに包まれました。



スノードロップ
花言葉：希望

ボランティアによる「生活のちよつとしたお手伝い」を始めます。



有償の生活援助サービス(みなみん・おたすけサービス)



■利用会員とは

南房総市に住所があり、日常生活の支援や援助を必要とする65歳以上の高齢者・障がいのある方です。

■協力会員とは

この事業に理解と熱意を持ち、ボランティア精神を持つこの活動に協力できるボランティアです。

■利用できる内容

- ① 話し相手
 - ② 衣類の洗濯や整理
 - ③ 住居の清掃やゴミ出し
 - ④ 日常生活品の買い物の代行
 - ⑤ 簡単な調理の手伝い など
- 特に技術や資格を必要としない日常生活のお手伝いです。



■利用できる時間帯

利用日 月曜日～金曜日

※ただし、土日、祝祭日、年末年始は休みです。

時間 午前9時～午後4時まで

※1回の利用時間はおおむね1時間程度で週2回まで利用が出来ます。

■年会費

利用会員 1,000円

協力会員 1,000円(初回登録時のみ)

■利用料と支払いについて

利用料 15分 175円

※買い物代行の場合は、利用料のほかに200円かかります。

支払いは、事前に利用券を購入していただき、利用時間に応じて、利用券での支払いとなります。

■利用日について

サービスの利用を希望する5日前までに、日にちや時間を社会福祉協議会に連絡をしてください。

■登録について

登録開始 平成29年1月から

※サービスの利用は2月からになります。

南房総市社会福祉協議会では、ボランティアが高齢者や障がいのある方のお宅へ伺いゴミ出しや住居のお掃除など「ちよつとした」日常生活のお手伝いをする有償の生活援助サービスを始めます。

このサービスは南房総市の住民同士の支えあい活動として市民の皆さんの参加と協力による会員制で有償のサービスとなります。

利用できるサービスは下記の内容となりますが、介護保険や障害者自立支援のホームヘルプサービス等公的なサービスが利用できる場合、また、他サービスの利用が可能であり適当と考えられる場合は、原則としてそちらが優先となります。支援の内容は特殊な技術・資格を必要としない日常のお手伝いです。



大勢の方が受講しました

士のためには、地域や住民同士のたすけあいが益々必要となつてきます。南房総市社会福祉協議会で行う有償の生活援助サービスもこれから始まります。ぜひ、関心・興味のある方は、お近くの福祉サポートセンターへお立ち寄りください。

誰もが住み慣れたところで自分らしく生活ができるよう、ちょっとした生活の手助けや介護予防の視点をもって、住民同士が助け合うことのできる担い手の養成が出来たらと、今回講座を開催しました。「なぜ、担い手が必要なのか」をテーマに介護保険制度・ボランティアの心得・南房総市社会福祉協議会の今後の取り組みについてなどの講義を行いました。

市内より90名もの参加があり、大勢の方がこの講座へ関心をもってくれていると感じました。今後、介護保険法の改正に伴い、地域や住民同

10月13日

みなさん・おたすけサービスの開始に向けて

生活支援担い手養成講座

○サービス利用までの流れ○

(利用会員)

①利用会員の登録

申請書類のほか、特に該当する書類を提出します。
○介護保険証の写し
○各種手帳の写し等

②職員が訪問調査に伺います

職員が訪問し、この事業の説明とサービスについての必要な調査を行います。



③年会費の支払いチケットの購入

登録が決定したら年会費1,000円を納入し、またサービスの利用券を事前に購入します。



④サービス利用開始

サービスの5日前までに利用希望の日や時間を社会福祉協議会に電話で連絡をします。

⑤サービス利用時

サービス当日、ボランティアが支援をします。
※お支払いは、時間に応じて利用券を協力者へ渡します。

(協力会員)

①協力会員の登録

申請書類のほか、特に該当する書類を提出します。
○運転免許証の写し等



②年会費の支払い

登録が決定したら年会費1,000円を納入します。(年会費は初回のみ)

③講習を受講

社会福祉協議会が主催する講習を受講します。

④社協から協力の依頼

利用会員から協力の依頼があった場合、社会福祉協議会から連絡が入ります。

⑤活動の報告・協力費の支払い

協力した日数及び内容を社会福祉協議会へ報告して頂きます。
※報告のあった翌月に協力した分の協力費が支払われます。

【申込・問い合わせ先】

サービスを希望される方、また、ボランティアとして協力できる方は、南房総市社会福祉協議会本所 またはお近くの福祉サポートセンターへ



これからも
いきいきお元気に

敬老の日を祝して

敬老の日は、長年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする日です。



10/21

二人で歩んできた道のりを 振り返って

結婚50周年祝賀事業

結婚50周年祝賀会が富浦ロイヤルホテルで開催され、今年度は36組のご夫婦が出席されました。

出席者全員での記念撮影のあと、渋谷幸一社協会長から記念品とお祝いの言葉が贈られました。

出席されたご夫婦からは、ともに過ごした半世紀



お祝いの言葉とともに記念品を贈呈

を振り返りながら、改めて50年間の結婚生活の喜びをかみしめておられました。

9/6・7

肖像画を贈り長寿を祝う 100歳に肖像画を贈呈

長寿のお祝いに渋谷幸一社協会長が市内で平成28年度に100歳を迎える22名の方へ肖像画を贈りました。

贈呈には「ご長寿、の皆さまのもとを訪問し、「いつまでもお元気で長生きをしてください。」とお祝いの言葉とともに贈りました。

肖像画を贈呈された方やご家族からは「今にも喋りだしそうだね。」「素敵な肖像画をありがとう。」と喜んでいました。

これからも健康で、ますますのご長寿をお祈りいたします。



渡辺はな様ご家族と一緒に

募集

ご家庭で眠っている食品大募集!

フードドライブ《食品の募集》にご協力ください。

第15回フードドライブ

平成29年1月16日(月)~2月28日(火)まで

日本では年間約 1,700万トンの食品は廃棄され、その中にはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品が 500~ 800万トンもあると言われています。

ご家庭で不要な食品があればぜひ寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任を持って福祉関連施設へ、支援団体などを通じて生活に困窮している方にお配りします。皆様のご協力お待ちしております。

* ご注意頂きたい点 *

- ①賞味期限が明記され、かつ2カ月以上あるもの。
- ②常温で保存が可能なもの。
- ③未開封であるもの。
- ④破損で中身が出ていないもの。
- ⑤お米は平成27・28年度産のもの(玄米可)



【受け取り窓口】

南房総市社会福祉協議会(本所)または、お近くの福祉サポートセンターへ



広がれ、子ども食堂の輪! inちば

お知らせ

《内容》

- ①NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 栗林知絵子理事長による講演
- ②子ども食堂実施者によるパネルディスカッション 「知って!来て!子ども食堂」
- ③子どもの支援活動者によるリレートークなど

◆開催日

平成29年1月15日(日)
午前10時~午後4時

◆会場

千葉市文化センター
アートホール
(千葉市中央区2-5-1)

◆対象者 一般県民

◆定員 500人

◆参加費 無料

◆問い合わせ先



「広がれ、子ども食堂の輪! inちば」実行委員会事務局
千葉県社会福祉協議会 地域福祉推進班内
〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3
TEL 043-245-1102/FAX 043-244-5201
E-mail: nieda@chibakenshakyo.com

FUKUSI NEWS



まだまだ若〜い、まだ若い♪

心地よい
秋晴れのな
か、歌って
動いて、聞
いて、見て
そして笑っ
ての一日と
なりました。

丸山地区では、南・丸山地区社協が共同で、今年度2回目の丸山いきいき交流会を開催しました。今回も盛りだくさんの内容で、見ごたえ聞きごたえのあるものばかりでした。特に、マジックショーでは、次々に繰り出されるマジックに釘づけでした。そして「みんな健康体操」の時には、丸山ボランティアによる演出もあり、長生き音頭を歌いながら楽しく体をほぐしました。

11月5日

長生き音頭で、元氣ハツラツ♪

丸山いきいき交流会

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。



参加者と一緒に健康体操

高齢化率が50%を超えた平群地区では、健康寿命を延ばすために、一人一人が日頃から注意していくことを、南房総市立富山国保病院から鈴木院長はじめ理学療法士の羽山先生、管理栄養士坂本先生・安西先生を講師に招き「食と運動で健康で健康アップ」をテーマに実技を交えた講演を行いました。

当日は、地区内より80名の大人から子供まで幅広い年齢層の方々が集いました。健康寿命を延ばすためには、運動と栄養が大切とのこと、肩甲骨と骨盤を動かす簡単な運動を試してみると「普段意識していないから、気持ち良い!」との声も聞かれました。

また、鈴木院長よりインフルエンザ・ツツガムシ病・入浴関連死など、この時期に注意すべき病気についても話をいただき、地元の病院の先生方に守られているとの安心感と今日学んだことを日常生活に活かしたいと思ったとの声が聞かれました。

11月19日

食と運動で健康アップ

平群地区地域福祉フォーラム



お目当ての品物はあるかしら?

また、少しでも多くの方がボランティア活動に興味を持って参加していただけたら、各ボランティア団体による趣向をこらした活動内容の紹介もありました。市内外から多くの人たちで大賑わいの一日となりました。

11月23日

地域を盛りあげる福祉まつり

第11回和田福祉まつり

和田4地区社協合同による第11回和田福祉まつりが和田地域福祉センターやすらぎを会場に開催されました。

会場では、福祉バザーや4地区小域ボランティアの手作り品や絵手紙の体験コーナー、茶香会抹茶コーナー、ふれあい喫茶、手作り小物販売、おもちゃと絵本の図書館、地域づくり協議会による子供コーナーなどの多くのボランティアコーナーが設けられ、大人から子供まで楽しめるようになっていました。

れんげの会

子供たちの笑顔のために!!

三芳地区の「れんげの会」を紹介します。
毎月第2・第4水曜日に三芳地区通学路5ヶ所で小学校児童の登校時に横断歩道を安全に渡るための手助けと見守りをしています。

登校途中の児童がボランティアさんに「おはようございます。」と元気に挨拶し、ボランティアさんも「おはようございます。」と声を掛け、温かい「ミニコミュニケーション」が生まれています。

また、このほかにも毎週水曜日午後から三芳小学校で学習ボランティア活動もしています。

児童のみなさんを地域で見守り、安心して健やかに成長して欲しいという思いを持って活動しています。



おはようございます ♪ 元気でいってらっしゃい

広がれ!

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、各地区のボランティア団体を順次、ご紹介していきます。

ボランティアの活動をレポート

11月8・16・22日

安心安全なお弁当づくりを目指して!

給食ボランティア研修会

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的としたお弁当をお届けするふれあいランチサービスにご協力頂いているボランティアを対象に、内房地区・朝夷地区と3会場に別れて、研修会を行いました。

安房健康福祉センターの職員を講師に迎え、食品衛生と食中毒についてと、手洗いチェッカーを使った適切な手洗い方法を学びました。

毎年行っている衛生講習会ですが、毎年参加することで食中毒の予防方法を再確認できます。これからも安心安全なお弁当作りに欠かせない研修会となりました。



注意点を再確認しました

10月5日

緊急時に役立つために!

富浦支部AED講習会

ボランティア連絡協議会富浦支部では、富浦分遣所の署員の皆様のご協力のもと、AED講習会を実施しました。

心肺蘇生法・AEDの使用方法の他、止血法・異物除去法などの説明も受け、日常生活での緊急事態時に落ち着いて対応できるよう、皆さん真剣に聞いていました。

心肺蘇生法とAEDは実際に体験し、長く続けるには体力が必要な事もわかりました。

1回では忘れてしまうので、AED講習会は定期的に行うのが望ましいと気づくことができました。



1, 2, 3, 4, 5AED 準備 OK です



ホームヘルパーの ワンポイント

かいGO 介護

冬場の水分補給

温かい飲み物がホッとする季節になりました。

高齢者にとって水分補給は、夏のみではなく冬でもとても大切です。

しかし、胃の働きが弱くなってきている高齢者にとっては、お茶の中に含まれるタウニンやカフェインが負担になることもあります。



どんな飲み物がいいの？

「ほうじ茶」や「番茶」などが胃に負担なく飲めるお茶です。
また、ミントティなど少し目先が変わったお茶も食欲のない時など良いといわれています。



心も身体もゆっくりとお茶を楽しめる。
そんな時間を持ちたいですね



心もからだもぽっかぽか♡

問い合わせは

- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス
☎29-5021
- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター
☎29-5022

第4回

～つながりから始まる 地域のささえ愛～

●第11回南房総市社会福祉大会のお知らせ●

今回の大会テーマは、「つながりから始まる地域のささえ愛」です。

以前は近所の民家の縁側に人々が集まりお喋りしあったり、心配ごとを相談したり、身近な支え合い活動の拠点となっていた時代がありました。

こうしたすべての世代が集える居場所でふれあうことで生きがい生まれ、さらに互いに支えあう輪が広がります。

日々活動をしている市内のボランティアや住民の方々が一同に集い、日頃の活動の発表と相互の交流の場とする「第4回南房総市ボランティアまつり」も同時開催します。

皆さまお問い合わせの上ご来場下さい。

〈日時〉平成29年2月11日(土)

午前9時30分～午後12時20分

〈会場〉南房総市三芳農村環境改善センター

〈内容〉

- 福祉功労者の表彰
- 赤い羽根募金箱コンクールの表彰
- 市内の小中学生、高校生の福祉作文発表
- 記念講演 『地域の居場所で生まれる
ふれあい・いきがい』



弁護士・さわやか福祉財団会長
堀田 力氏

南房総市ボランティアまつり 開催のお知らせ！

〈日時〉平成29年2月11日(土)

午前10時45分～午後3時まで

(南房総市社会福祉大会と同時開催)

〈場所〉南房総市三芳農村環境改善センター

市内で活動するボランティアの紹介、活動発表、手作り作品の販売を通して地域の皆さんとの交流を行います。

餅つき大会やバザーなど催し盛りだくさんです。ぜひ、お誘いあわせの上お越しください。



おふくろの味、おいしいよ



*送迎バスを
運行します！



手作り人形劇に親子で夢中！

詳しくは来年
1月に配布する
全戸ちらし
をご参照ください。

たくさんのまごころありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成28年9月～平成28年11月

大井区	(物品寄付:缶詰)
平久里中 里山の会	20,000円
ザ・シンプル	10,000円
池田幸雄	100,000円
根本区	30,000円
中山嘉久	100,000円
大貫小松寺もみじ祭実行委員会	27,305円
匿名 1件	10,000円

第11回和田福祉まつりでご協力いただいた方々に
ご寄附いただきました。

なみはらっこらぶ	2,000円
おたよりボランティア	2,000円
ふれあい喫茶「なごみ」	2,000円
茶香会	2,000円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

お知らせ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方 ・身体障害者手帳1級・2級の方 ・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方、介護をしているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限/平成29年1月27日(金)まで

給付月/平成29年3月

申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター

問い合わせ先/南房総市社会福祉協議会(本所)

または、お近くの福祉サポートセンターへ

無料法律相談

～法律に関することでお悩みの方～

時間/午後1時～午後4時

予約・問い合わせ先 ☎44-3577(本所)

開設日	場 所	担 当
1月26日(木)	丸山公民館	弁護士
2月23日(木)	とみうら元気倶楽部	司法書士
3月23日(木)	和田地域福祉センター	弁護士

○事前予約申込:随時電話にて予約を受け付けます。

○定 員:6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○その他:調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

ゆめを追いかける君へ 教育支援資金

教育支援費(授業料貸付)



対象となる学校	貸付限度額
高等学校	月額35,000円以内 (中等教育学校後期課程、地区別支援学校高等部、専修学校高等課程含む)
短期大学 専修学校専門課程 高等専門学校	月額60,000円以内
大学	月額65,000円以内

就学支援費(入学に際し必要な経費の貸付)

対象となる学校	貸付限度額
高等学校、大学、短期大学、 専修学校、高等専門学校	500,000円以内

※就学支援費の受付は入学時のみ

○本資金は低所得世帯を対象としており、就学する本人が借受人となる貸付制度です。

○民生委員が継続して相談支援をします。

○他の公的制度(奨学金、母子寡婦福祉金等)が利用できる場合はそちらが優先になります。

○貸付にあたっては審査があります。

問い合わせ先/お近くの福祉サポートセンターへ

発行・編集

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 ㊚44-3542

- | | |
|-----------------|----------|
| ◆とみうら福祉サポートセンター | ☎33-4565 |
| ◆とみやま福祉サポートセンター | ☎57-2926 |
| ◆みよし福祉サポートセンター | ☎36-2276 |
| ◆しらはま福祉サポートセンター | ☎30-5122 |
| ◆ちくら福祉サポートセンター | ☎44-3541 |
| ◆まるやま福祉サポートセンター | ☎46-2200 |
| ◆わだ福祉サポートセンター | ☎47-3390 |
| ◆ホームヘルプサービス | ☎29-5021 |
| ◆ケアプランセンター | ☎29-5022 |

みてみて!



facebook



twitter

